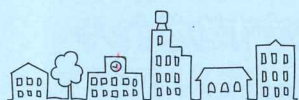


社協とつか

2019年6月号(第75号)

発行/企画 社協・編集会議

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚
T E L：045-866-8434
F A X：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com
http://totsukashakyo.com/



住民主体のまちづくり 第3弾



広がれ! みんなの居場所

戸塚区内には、以前から自治会町内会や福祉施設などを利用した居場所の活動が行われています。また、ここ数年のうちに、空き家や空き住戸の活用など、新たな広がりが生まれています。

そこで、今号では、本会地区担当者がおすすめする「集いの場(居場所)」を紹介し、あらためて「住民主体のまちづくり」について考えたいと思います。身近な場所に、このような場が増え、多くの人々が気軽に通えるように応援していきます。

ミニ知識

「集いの場」活動とは?

地域住民が主体となって行っている参加者数が概ね5人以上の活動としています。介護予防や住民交流、子育て支援など様々な活動があります。財源は、戸塚区社協ふれあい助成金(共同募金)、参加費などです。

北汲沢地区

サロン絆

北汲沢地区の東明西町内会では、町内会長を中心に「みんなが気軽に集まれる場所がほしいよね」との声を受け、平成30年6月に「サロン絆」が立ち上がりました。毎月1回ずつ、料理・麻雀・カラオケを楽しんでいます。どのプログラムに出ても参加者から「こうやってみんなで集まると楽しいね」との声が聞かれ、最近では「次はこんなことをやってみたい!」とアイデアも出てくるようになってきました。生き生きと活動されている姿と笑顔が溢れるアットホームな雰囲気が印象的なサロンでした。

活動の周知は、町内会の回覧で回していますが、エリア外の方も参加しています。ここを拠点にボランティア活動につながればいいなと考えています。

料理教室 男性の参加者が多く、率先して調理をしています。始めたころは、ぎこちない手つきでしたが、最近では、手際よく味付けから盛り付けまでできるようになりました。その後の会食では、40年前の町内の風景や子育ての話など、昔話が盛り上がります。

カラオケ 歌が好きな方が参加しています。90代の方も毎回楽しみに通っています。懐かしい歌から、新しい歌まで、3時間があっという間に過ぎていきます。

麻雀 麻雀が得意な方が講師となり、初心者にていねいに教えています。月に1回では物足りないという声があがっています。

開 催：それぞれ毎月1回
内 容：料理・カラオケ・麻雀
参加対象者：年齢問わず
参 加 者 数：各プログラム10人程度



地区担当者おすすめポイント

参加して楽しいプログラムを行っています。特に男性の参加者が多いのが特徴です。



みんなで楽しく料理作り



初心者でも
気軽に参加できます



出来上がった料理を食べながらおしゃべり

空き家活用

平戸平和台地区

にこにこサロン

みんなが主役! ホッと安心できる
世代をつなぐ大きな笑(わ)

平戸平和台地区にある空き家を活用した「地域交流拠点にこにこハウス」で平成29年春、「にこにこサロン」が始まりました。プログラムは、手芸や編み物、笑いヨガ、健康体操など、気軽に参加できる内容にしています。また、ランチの提供もしています。メニューは、スタッフの負担を考え、カレー(月1回)、お好み焼き、餃子などにし、参加者と一緒に料理をしています。また、盛りつけも片づけ、洗い物もすべてセルフサービスにしています。

ただし、参加者全員が料理をするわけではありません。セルフサービスのお茶を飲みながらおしゃべりしている人、台所に入りエプロン姿で料理をしている人、ランチだけを食べて来る人など、みんながその日の気分でそれぞれ過ごしています。「ごはん、できたよー」と声がかかるとみなさんトレーを片手に台所にやってきます。配膳もビュッフェ形式のため、食べ残しが全くないとのこと。食べ終わると食器を台所に持ってきて、洗い物をしていきますが、当番や担当は、全く決めていないそうです。なかには、おなががいっぱいになり縁側で昼寝をしている人もいます。

この雰囲気が人気を呼び、地元の人だけではなく、ほかのエリアからバスで来る人もいます。



おなじみ人気のメニュー

人気の秘訣を伺ったところ、誰でも気兼ねなく、自分の好きなことをして過ごせること、特に一人暮らしの方は、みんなのために料理を作れること、いろいろな人に出会えることが楽しみにしているのではないのでしょうかと話されていました。

この取材を通して、参加者一人ひとりに自分の居場所があることに、これからのサロンの姿を感じました。



手作りランチをみんなで食べます



月1回のカレーもかわいく盛り付け



庭の畑で季節の野菜を収穫

開 催：毎月2回 10:00～15:00
内 容：手芸・笑いヨガ・料理など
参加対象者：だれでも(エリア外でも可)
参加者数：毎回約25人



地区担当者おすすめポイント

- ① 空き家を活用した家庭的な雰囲気です。
- ② 「食」を通じた活動で初参加の方も気兼ねなく過ごせます。
- ③ メニューもみんなで一緒に作る料理にしています。

ほっこりエピソード

にこにこハウスには、何でも相談できる「にこにこ相談室」があります。住民から田舎に住むおばあちゃんが1週間位こちらにいて、どこかに参加できる場所がありませんかと相談を受け、このサロンを紹介しました。サロンにおばあちゃんが遊びに来たところ、一生懸命みんなに田舎の様子を話しながら、ランチを楽しみ、みんなと素敵な時間を過ごしたようです。初めて参加した人でも楽しくすごせるようにスタッフの方達は、話しかけたり、盛り上げたりと場作りをしているそうです。

立ち上げから今のスタイルになるまでに試行錯誤してきましたが、ひとつには、平戸地域ケアプラザの存在が大きかったと思います。地元の支援機関と私たちで話し合いを重ねてきたから、作り上げてきたサロンです。ぜひ、遊びに来てください。

なかむら ときこ
(代表 中村 藤季子さん)

東戸塚地区

憩いの部屋

空室活用



憩いの部屋は、平成29年10月に川上第一団地県営アパート自治会が団地内の空き住戸に開設した交流スペースです。同団地には一人暮らし高齢者も多く、日頃から住民同士が交流できる場が必要との声から立ち上げに至りました。東戸塚ふれあいホスピタルの協力による健康相談やお花の教室、憩いのカフェなどの催し物を実施しており、地域の方々気軽に立ち寄れる交流場所となっています。



こころんがいっぱいの旗が目印です



憩いのカフェ



お花のサークル

開 催：毎月4～5回
内 容：憩いのカフェ、お花のサークル
健康相談など
参加対象者：どなたでも
参加者数：毎回約10人



地区担当者おすすめポイント

住民の住んでいる団地内の空き住戸を活用している場所です。ふらっと気軽に立ち寄れる場となっています。

仲間づくりの魅力に気づいてもらいたくて、この場所を開設しました。この魅力に気づいていない人もたくさんいます。今後も憩いの部屋では、仲間づくりのサポートをします。

しみず とよじ
(代表 清水 豊司さん)

みなさん、いかがでしたか?今回は、区内の集いの場活動を紹介させていただきました。集いの場活動に興味のある方は、ぜひ戸塚区社会福祉協議会または、お近くの地域ケアプラザまでご相談ください。

福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと

vol. 11

一仕事の内容を教えてください

地域ケアプラザとして、地域の中での支え合いや助け合いを実現するためのお手伝いをしています。具体的には、世代を越えた交流の場づくりや、地域の方の活躍の場づくりなどを行っています。たとえば、昨年度は、写真の得意な方に先生になっていただき、「フォトウォーク舞柏」講座を行いました。

一なぜこの仕事に就きたいと思われたのですか

大学の社会福祉学科で勉強をし、理論的に学んだり、歴史について知ることができました。介護予防にも興味があったので、学校のそばにあったサロン活動にボランティアで参加していました。また、地域ケアプラザで実習をしたことで、この仕事に就きたいと思いました。

一仕事の魅力を教えてください

大勢の人々と関わることが多いので、人間関係が基盤となります。人生の大先輩から赤ちゃんまで様々な世代とコミュニケーションをとりながら、地域活動を作り上げていくことが魅力です。その反面、場面や人に合わせて関わる必要があるのも、自分自身も努力をして学んでいかないといけないと思っています。

一地域における地域ケアプラザの役割とは

もちろん個別相談部門もありますが、「場」としての役割もとても大きいと思います。誰でも気軽に立ち寄れる場所があることで、そこから様々な活動が生まれてきます。地域の皆さんと共に地域活動を創り上げていくことが重要だと考えています。

一「社協とつか」読者へのメッセージをお願いします

福祉の仕事のイメージがどうしても「介護」になりがちですが、介護以外にも幅広い職種や仕事があります。機械では代わることのできない、とてもやりがいのある仕事ですので、まずは、福祉に興味を持ってほしいと思います。



社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会
横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ
地域活動交流コーディネーター 5年目

やりた ももこ
鎗田 桃子さん

とつかボランティアセンター通信

受講者
募集

「ボランティアのいろは」を開催します！

「ボランティアのいろは」とは、地域で何かを始めたいと考えているボランティア初心者を対象に、講義や質問タイムを通じてボランティアについての理解を深めるための講座です。

今回は、体験タイムで高齢者疑似体験と車いす体験を行います。

日 時 令和元年7月10日（水）10:00～11:30

場 所 戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚

定 員 15名

参 加 費 無料

内 容 ①講義「ボランティアとは」

※「助けられ上手・助け上手カード」を使ったカードゲームを行います。

②体験タイム（高齢者疑似体験・車いす体験）

※ボランティア紹介として、福祉教育サポーターについて説明します。

③質問タイム&交流会

参加申込 とつかボランティアセンターにお電話で申し込み **(866-8483)**



あなたに合った楽しいボランティア活動と一緒に見つけましょう！



高齢者疑似体験の様子



車いす体験の様子



カードゲームの様子

ボランティアに興味のある方、ボランティアに依頼したいことがある方、
その他ボランティアに関する質問等、まずはお気軽にご相談下さい。

とつかボランティアセンター

窓口開設：月～土 9:00～17:00

※日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

住 所：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 167-25
戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚

TEL：045-866-8483

FAX：045-862-5890

Email :volunteer@totsukashakyo.com

ご案内図

